VOLCA LOCK

LC-4700DLSS

取扱説明書

販売／施工店

※販売／施工店様へ
上記空欄へご連絡先等を明記下さいます様、よろしくお願い
申し上げます。

トータルセキュリティの提案
LOCKMAN®
SINCE1980
ロックマンジャパン株式会社

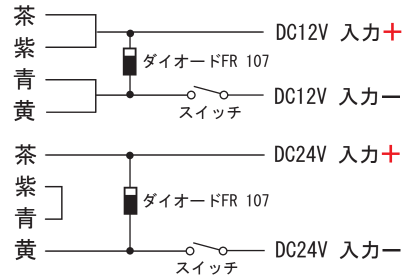
目　　　次

仕様／配線仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
外形寸法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
取付金具 BL-2345Z 取付方法・・・・・・・・・・・・・P2
取付金具 BL-4700L 取付方法・・・・・・・・・・・・・P3
閉扉信号 (DSS) について・・・・・・・・・・・・・・・P4
施錠信号 (LSS) について・・・・・・・・・・・・・・・P5
困ったときは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P5
安全設置上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6

仕　様

定格電圧	DC12V or DC24V ±10%
消費電流	DC12V/410mA DC24V/210mA ±10%
耐水性	あり IP66
使用温度	−10℃～60℃ 結露、氷結なきこと
施解錠信号(LSS)	あり COM,N.C,N.O 無電圧接点出力 施錠時(COM/N.O),解錠時(COM/N.C) 接点容量:24VDC,50mA Max
開閉扉信号(DSS)	あり 無電圧接点出力 閉扉時メイク接点出力 開扉時ブレイク 接点容量:24VDC,50mA Max
外形寸法(本体)	220(L)×46(W)×32(D)mm
外形寸法(吸着板)	185(L)×42(W)×12.5(D)mm
重量(本体)	約 1.7Kg
重量(吸着板)	約 0.75Kg
吸着力	約 410Kg

配線仕様



※ご注意!!

同梱のダイオードは必ず上記回路図面上の位置へ接続してください。
またダイオードは極性がございますので電源を入れる前に電源とダイオードの極性を必ずご確認ください。

施解錠信号（線出側）

黒 —— COM
赤 —— N.C
緑 —— N.O

施解錠信号（線出反対側）

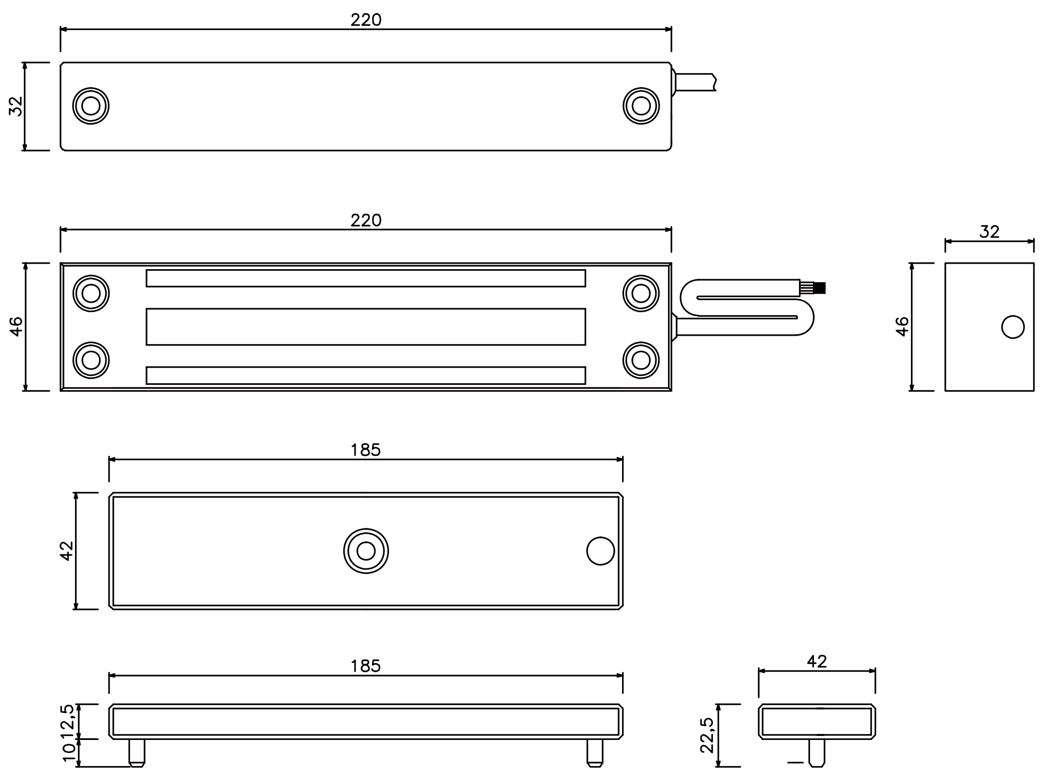
灰 —— COM
橙 —— N.C
白 —— N.O

桃 —— 開閉扉信号(DSS)　無電圧接点出力
薄青 —— 閉扉時メイク接点出力　開扉時ブレイク

梱包明細

梱包品	員数	梱包品	員数
LC-4700DLSS 本体	1	吸着板取付ビス	1
LC-4700DLSS 吸着板	1	吸着板取付用貫通ボルト	1
本体取付ビス	6	ワッシャー M6 用	2
取付穴隠し(ゴム)	6	ゴムパッキン	2
六角レンチ(大)	1	六角レンチ	1
ダイオード	1	ネジロック	1

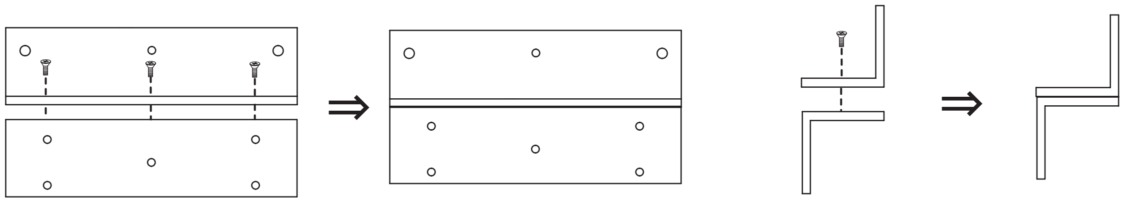
外形寸法



取付金具 BL-2345Z 取付方法

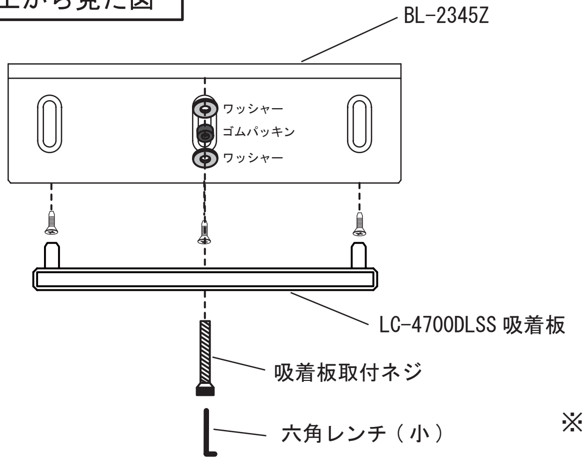
BL-2345Z は吸着板を取り付ける Z 型金具（別売）です。主に内開き扉の扉（可動部）へ取り付けます。取付方法は以下の通りです。

L 型のアングルを下記のように 2 枚重ねて Z 型金具となります。BL-2345Z に付属のネジ（計 3 箇所）にて L 型金具を固定してください。

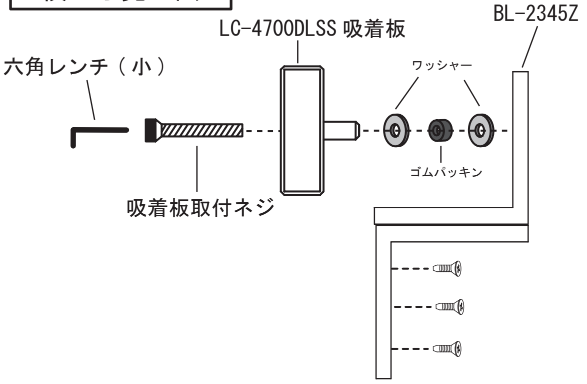


扉へ BL-2345Z を取付ビス（計 5 箇所）にて固定します。付属の吸着板固定ネジにて吸着板を固定します。その際は適宜吸着板と BL-2345Z の間にゴムパッキンとワッシャーを入れ吸着板に適度ながたつきが出る様に付属の六角レンチ（小）にて固定してください。

上から見た図



横から見た図



※ゴムパッキンとワッシャーは最低各 1 個ずつご使用ください。

取付金具 BL-4700L 取付方法

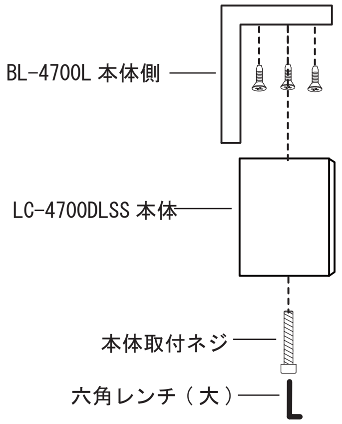
電磁式電気錠 LC-4700DLSS は横へスライドする扉（横引き戸）用の取付金具として BL-4700L がございます。（別売）本体用の L 型金具と吸着板用の L 型金具の 2 枚セットです。取付方法は以下の通りです。

①BL-4700L 本体側取付方法

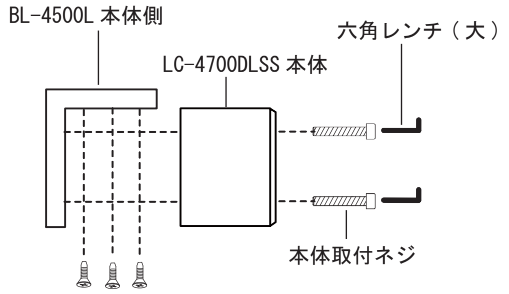
BL-4700L 本体側は LC-4700DLSS 本体を取り付ける L 型金具です。主に横引き扉の扉枠へ本体を取り付ける場合に使用します。取付方法は以下の通りです。

扉枠へ BL-4700L 本体側を取付ビス（計 5 箇所）にて固定し、LC-4700DLSS 本体を本体取付ネジにて固定します。取付ネジは扉に応じて側面から、もしくは吸着面側から固定してください。本体取付ネジは付属の六角レンチ（大）を使用してください。

上から見た図



もしくは

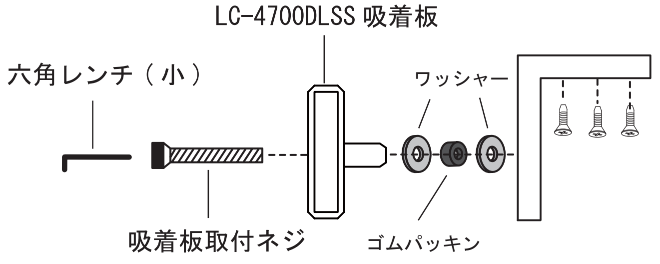


②BL-4700L 吸着板側取付方法

BL-4700L 吸着板側は LC-4700DLSS 吸着板を取り付ける L 型金具です。主に横引き扉の扉へ吸着板を取り付ける場合に使用します。取付方法は以下の通りです。

扉へ BL-4700L 吸着板側を取付ビス（計 5 箇所）にて固定します。付属の吸着板固定ネジにて吸着板を固定します。その際は適宜吸着板と BL-4700L 吸着板側の間にゴムパッキンとワッシャーを入れ吸着板に適度ながたつきが出る様に付属の六角レンチ（小）にて固定してください。

上から見た図



※ゴムパッキンとワッシャーは最低各 1 個ずつご使用ください。

閉扉信号（DSS）について

LC-4700DLSS は下図 1 の位置に閉扉を感知するセンサー（閉扉信号 /DSS）を内蔵しております。センサーからは無電圧接点が出力されます。（P1 配線仕様をご参照ください。）吸着板取付の際は吸着板の向きに注意して吸着板を取り付けてください。吸着板の位置がずれると閉扉しているにも関わらず閉扉信号が出力されない場合がございます。取付の際は LC-4700DLSS 本体の中心と吸着板の中心ができるだけ重なる様取り付けてください。

図 1. LC-4700DLSS 閉扉信号センサーの位置

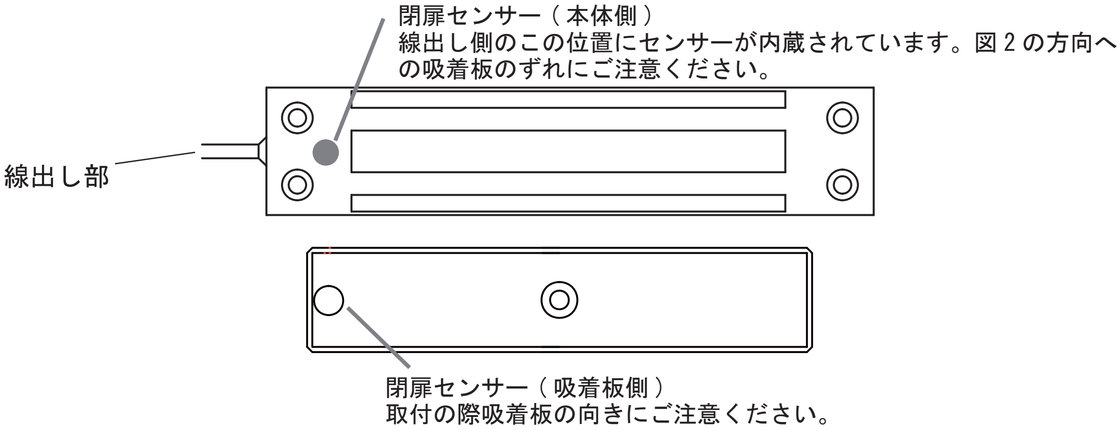
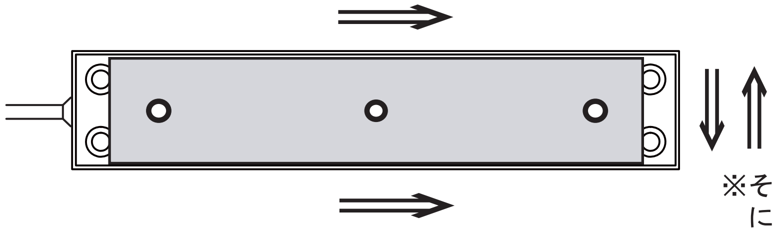


図 2. 吸着板のずれの注意方向

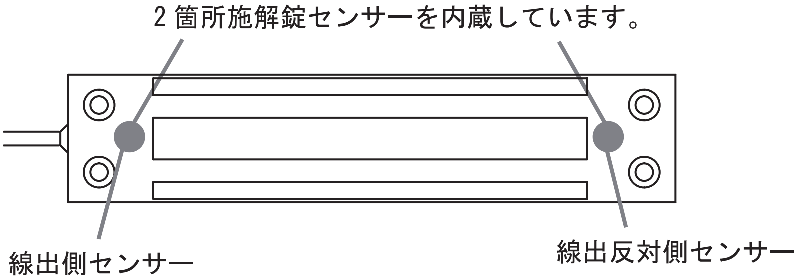


※それぞれ⇒の方向への吸着板のずれにご注意ください。施錠信号が出力されない恐れがございます。

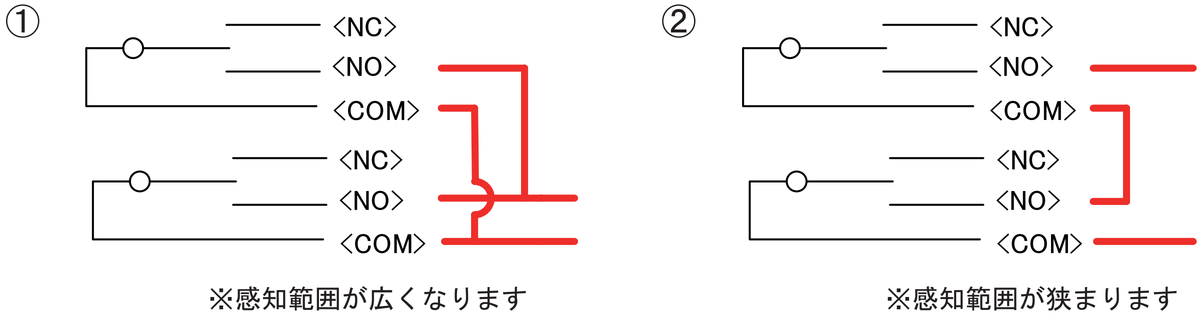
施錠信号 (LSS) について

LC-4700DLSS は下図 1 の位置に吸着を感知するセンサー (施解錠信号 /LSS) を 2 箇所内蔵しております。センサーからは無電圧接点が出力されます。(P1 配線仕様をご参照ください。)

図 1. LC-4700LSS 施錠信号センサーの位置



< 施解錠信号配線例 >



困ったときは

不具合症状	確認事項
吸着(施錠)しない。	電磁錠に対して定格電圧(DC12V または DC24V)がかかっているかご確認ください。
	吸着板に適度ながたつきがあるかご確認ください。
	扉を閉めた際に電磁錠本体と吸着板の間に隙間がないかご確認ください。
吸着しているにも関わらず施錠信号が出力されない。	本体に対して吸着板の取り付けにずれがないか確認してください。
	ドアクローザーが確実にきいているかご確認ください。電磁錠が戸当たり状態になっている場合、衝撃で施錠信号が破損する恐れがございます。
閉扉しているにも関わらず閉扉信号が出力されない。	本体に対して吸着板の取り付けにずれがないか確認してください。
	ドアクローザーが確実にきいているかご確認ください。電磁錠が戸当たり状態になっている場合、衝撃で閉扉信号が破損する恐れがございます。

安全上のご注意

●必ずお読みください！●
安全にお使いいただくために必ずお守りください。

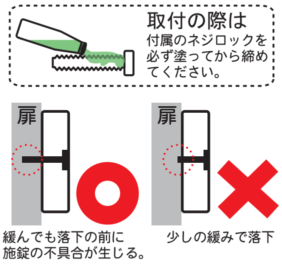
本文は本錠をお使いになる場合、人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡・重傷」などを負う可能性が想定される内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害または物的損害」が発生する可能性が想定される内容です。
定保	定期的な保守点検が必要です。

警告 定保 長いネジとネジロックでしっかり固定

吸着板を取り付ける場合、固定するネジが緩まないように付属のネジロックを必ず塗ってから締めつけてください。

吸着板の取付金具を使用して固定する場合、固定ネジは扉の中に入るように長いネジ(30mm ～ 40mm) を使用してください。短いネジは緩んだ場合に吸着板が落下する危険があります。



警告 定保 安全な場所への取付

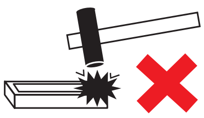
人体が接触する可能性のある場所に設置する場合、電磁錠本体で怪我などしないように、安全管理を十分に考慮した上で取り付けてください。

警告 定保 木製扉への取付は付属品が必要

木製扉に掘り込んで取り付ける場合、当社が指定する商品とブラケットを必ず使用してください。本体温度を 40℃以下に保つように考慮して設置してください。火災・故障の原因となります。（不明の点はお問い合わせください。）

注意 センサーに衝撃を与えない

電磁錠本体に強い衝撃を与えないでください。ハンマー等で叩くと内蔵されている施解錠センサーが壊れる可能性があります。門扉等に設置する場合はその事を考慮して使用してください。



注意 塗料・コーティングの禁止

電磁錠本体・吸着板へは、サビ止めなどの塗料を塗ることを禁じます。吸着力の不具合や誤動作につながります。

警告 定保 取付作業は専門の技術者にお任せ

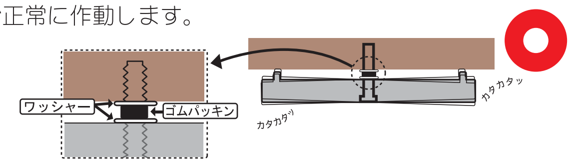
電磁錠を取り付ける場合は、専門的な技術と経験が必要です。取り付ける場所に応じて重量に耐えられる強度を確保して設置工事を行ってください。強度不足で落下する危険があります。

警告 定保 規定の電源と配線を厳守
（+. − を間違わないこと）

電源は DC12V、DC24V のどちらかを使用してください。その時に DC12V と DC24V の配線仕様を間違わないようご注意ください。指定以外の電圧で使用しますと火災・感電・故障の原因となります。

注意 吸着板の固定はここがポイント

吸着板を固定する場合、付属のワッシャーとゴムパッキンを使用してください。その時、吸着板が少し動くように固定してください。動かない状態では電磁錠と吸着板が正しく密着されません。施解錠信号は正しく密着している状態で正常に作動します。



注意 火気・高温多湿、ガスなど厳禁

火気の近くや高温多湿な場所には取り付けないでください。また、腐食性ガスや可燃性ガスが発生するような場所には設置しないでください。

注意 不正改造の厳禁

電磁錠本体・吸着板を改造しないでください。不具合や、安全上の問題が発生します。

本錠はマグネット式の電気錠で盗難を防止するものではありません。以下の場合に起因する本製品の不適切な使用により、万一損害が生じたり、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に対し、当社では一切責任を負いかねますのでご了承願います。

万が一発生した盗難・災害・事故・人身被害及び機器のご使用方法の誤り、改造による不具合や故障・保守点検などの不備・天災地変・注意事項に反した取り扱いなどによって生じた故障については保証できません。

この【安全上のご注意】は、本錠の仕様の変更・製品の品質向上に伴い予告なしに変更することがございます。予めご了承ください。